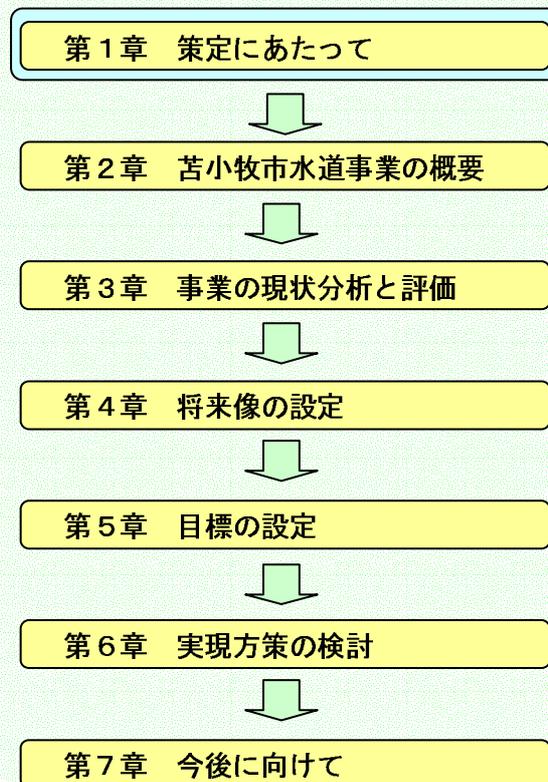


# 第1章 策定にあたって





# 第1章 策定にあたって

## 1.1 苫小牧市水道ビジョン策定の趣旨

厚生労働省では、平成17年10月17日付けで「地域水道ビジョン\*作成の手引き」をとりまとめ、公表しました。これは、ビジョン推進の主役は水道事業者であるとの認識から、それぞれの事業者ごとに、独自のビジョン作りを推奨するものです。

「地域水道ビジョン」等の的確な将来計画に基づいて事業経営を行うこと、定期的に「地域水道ビジョン」の策定状況を取りまとめること等が示されています。今後、厚生労働省による立ち入り検査等においては、水道事業が的確な将来計画に基づいて経営されているかという観点に重点を置くことが明確に示されました。

水道ビジョンでは、今後、団塊世代の技術者の大量退職が見込まれること、高度経済成長期に建設した施設が更新時期を迎えることから、「持続」という目標を掲げ、中長期財政収支見通しに基づく施設の計画的な更新を施策の大きな柱としています。

水道が市民生活および社会経済活動に不可欠な基盤施設として定着した現在、たとえ短時間の断水であっても、その影響は大きく、長期的な観点から、今後の更新事業の見通し、あるいは更新に際しての将来像を設定することが重要であり、地域水道ビジョンは、そのマスタープランと位置づけられるものです。

本水道ビジョンは、苫小牧市水道事業の現状を分析・評価するとともに、概ね21世紀中ごろを見通した長期的な視点で将来像、目標を設定し、実現方策を検討するものです。



苫小牧東上空より市街地を望む（苫小牧市HPより）

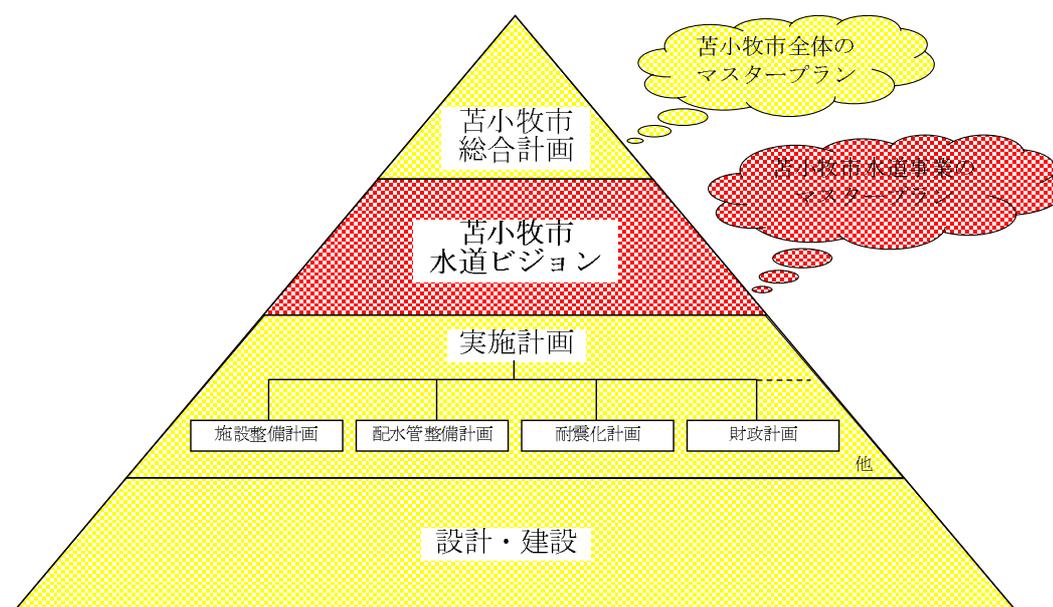


## 1.2 苫小牧市水道ビジョンの位置づけ

苫小牧市水道ビジョンは、上位計画である苫小牧市総合計画との整合性を図り、今後の水道事業が目指すべき方向性と目標を設定し、目標達成に向けた施策を定めるもので、その後の実施計画の指針として位置づけるものです。

一方、施設整備計画、配水管整備計画、耐震化計画、財政計画などの実施計画は、水道ビジョンのスケジュールに基づいて作成されます。

計画の期間は、10年間（平成20年度～平成29年度）として、常に効率的な健全運営に努めますが、社会情勢や経済情勢など水道事業を取り巻く環境に変化が生じた場合には、適宜、計画の見直しを行います。



「苫小牧市水道ビジョン」の位置づけ